

# 生物チャレンジ2008新聞

2008年8月22日(金)

## 始まりの朝

まだまだ暑さも残り、蝉の声も大合唱で聞こえる晩夏のつくばで、いよいよ生物チャレンジ2008が始まった。朝の予報では曇りのち晴れだったが、空には晴れ間が見えている。絶好のチャレンジ日和だ。

朝8時過ぎ、参加者がぞくぞく集まってきた。緊張のせいかな、はたまた朝起きる時間が早かったせいかな、参加者の顔が少しこわばっている様に見える。しかし、話を聞いてみると、「この機会を生かして生物学を楽しみたい」「今年こそ代表選手になって国際生物学オリンピックに出たい」「自分の力を発揮したい」など、とても心強い言葉が返ってきた。

そして9時半ちょうど、和田先生の司会進行のもと開会式が開始された。まず沼田先生の挨拶、次に佐藤学類長の挨拶、最後に昨年の国際生物学オリンピックで銅賞に輝き、現在筑波大学生物学類の学生でもある本多健太郎さんからの激励があった。「思う存分やっていただきたい」(沼田)、「友達を作り語り合い、楽しんでいただきたい」(佐藤)、「力が入りすぎてしまうので、あえて頑張らないで」(本多)これらの言葉は参加者の胸に響いたろう。

これから4日間、たくさんのドラマが生まれるだろう。その始まりにふさわしい朝になった。



## 実験試験にチャレンジ!

生物チャレンジ初日。開会式が終了し、一息つく間もなく実験試験の会場に向かう参加者。試験会場に着くとすぐに試験に関する説明が行われた。説明を一言も聞き漏らさないようにと真剣な表情の彼らからは、国際生物学オリンピックに参加したいという強い意思が窺えた。

実験試験開始。初日は、ハマグリ解剖・観察や、顕微鏡を用いて微細藻類(*Pyramimonas* など)の観察を行い、それぞれ観察後、考察問題にチャレンジしていた。

長いようで短い240分の戦いである。試験終了5分前の合図があった時には、落ち着いて全体の確認をする人、ラストスパートをかける人など、参加者の様々な表情が見受けられた。

一通り試験を終えた参加者に、感想を聞いてみた。「試験は難しかったです。時間が短くて焦りました」「とても疲れました。よく眠れそうです。明日は開き直って楽しもうと思います。」

初日の実験試験に手ごたえがあった人も、自信がなかった人も、うまく気持ちを切り替えて今日の試験に臨んでほしい。





## 先輩からのメッセージ

今日の開会式では、はじめはかたい話をしようと思っていたのですが、皆さんがかたい表情をしていたのでリラックスしてもらうためにあえてかたくない話をしました。今回の生物チャレンジについてですが、実験が自分の思ったようにできなかった人がいると思います。僕も大会の実験でうまくできなかったことがあるのですが、そのときはもうそこで吹っ切れてしまい、そこからは実験を楽しんでやっつけてしまおうと思いました。今にして振り返ってみると、そのおかげでリラックスして実験をすることができたのでしょうか。ですから、皆さんも吹っ切れるとまでは言いませんが心にゆとりをもって楽しんで実験してもらいたいです。


楽しむといえば、今回の生物チャレンジではさまざまな場所からたくさんの方が来ています。是非、このチャンスを生かして生物学でつながった友人を作って楽しんで下さい。見知らぬ場所にきていて少し緊張しているかも知れませんが、積極的に交流してください。絶対に将来大きな宝になると思います。実際に、まったく違った場所で偶然あったり同じ大学に通うことになったりなどするととてもうれしいものです。今はインターネットの時代なのでメールアドレスを交換するなどこれからも生物が好きなもの同士、みんなで情報を交換できるといいと思います。



### 今日の予定

9:00-12:00	実験試験
12:00	昼食
13:30-16:30	実験試験
17:00	夕食
19:00	サイエンスカフェ

### 今日の天気

8月22日(金)	曇り 
天候	10%
降水確率	25°C/20°C
最高気温/最低気温	